

企画展

実

考りの 考古学

— 美濃の農耕事始 —

2025.3.29(土) - 5.25(日)

■ 開館時間

午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

■ 休館日

毎週月曜日(5月5日月は開館)、5月7日水

■ 観覧料

高校生以上:310円(250円) 小中学生:150円(90円)

※()内は、20名以上の団体割引料金

※下記の方は入館料が無料となりますので、証明できるものをご掲示ください。(ミライロID可)

- 岐阜市在住の70歳以上の方
- 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、指定難病に関する医療受給者証の交付を受けている方、及びその介護者1名様
- 岐阜市内の小中学生の方
- 家庭の日(4月20日回、5月18日回)に入館する中学生以下の方と同伴する家族(高校生以上)の方

主催/岐阜市

会場/岐阜市歴史博物館 1階 特別展示室

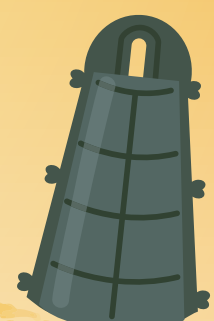
大足
柿田西遺跡
可児市蔵

パレススタイル土器 壺
城之内遺跡
岐阜県文化財保護センター蔵

木製鋤
柿田西遺跡
可児市蔵

細頸壺
寺田遺跡
岐阜市蔵

木製平鍬
柿田西遺跡
可児市蔵



実

考りの 古学

美濃の農耕事始

美濃地域は弥生時代の早い時期に稲作の技術が伝わり、水田が作られ米作りが行われてきました。大垣市の今宿遺跡や荒尾南遺跡など西濃地域の遺跡からは、弥生時代の稲作にかかわる遺構や、農耕・土木工事に用いられた木製品などが多く見つかっています。また、可児市の柿田遺跡からは古墳時代に使われていたいくつかの水制遺構が見つかり、灌漑施設を伴った農耕を行っていたことがわかっています。ほかにも、これらの遺跡からは農耕にまつわる祭祀にかかわる遺物もみつかり、人々の豊かな実りへの思いを感じられます。

この展覧会では、美濃地域で出土した農耕にかかわる遺構や用いられた農具、まつりの道具を取り上げ、弥生時代に稲作と出会った人々が、古墳時代、古代をへて、その後どのように稲作とかかわってきたのかを紹介します。

関連イベント

●講演会

①「発掘調査からわかる柿田・柿田西遺跡の道具とくらし」

長江 真和さん(可児市歴史資産課)
4月20日(日) 14:00~15:30(開場13:30)

②「弥生ムラづくりプロジェクトをとらえて考える弥生時代の農具」

原田 幹さん(あいち朝日遺跡ミュージアム館長)
5月11日(日) 14:00~15:30(開場13:30)

定員：各回170名(先着順)

申込方法：当館HP申込フォームまたは電話

申込受付期間：3月22日(土)~講演会前日の17:00まで

場 所：岐阜市歴史博物館 1階 講堂

受講料は無料、ただし、観覧券(当日入館のものに限る)の提示が必要です。

●学芸員による展示解説

①4月13日(日) 14:00~15:00

②5月 9日(金) 14:00~15:00

場 所：岐阜市歴史博物館 1階 特別展示室

本展観覧者は自由にご参加いただけます。(事前申込不要)

●ワクワクゼミナール(子ども講座)

「勾玉をつくろう」

5月3日(土) ①10:00~11:00 ②11:00~12:00

5月4日(日) ①10:00~11:00 ②11:00~12:00

講 師：当館職員

定 員：各回15名 対象 小学校1年生~中学校3年生
各回開始の30分前より整理券を配布します。

場 所：岐阜市歴史博物館 1階 エントランスホール

受講料：200円



遠賀川系土器 壺
荒尾南遺跡
岐阜県文化財保護センター蔵



細頸壺
寺田遺跡
岐阜市蔵



えぶり
柿田西遺跡
可児市蔵



赤彩長頸壺
江東遺跡
岐阜市歴史博物館蔵



弥生時代の水田跡
今宿遺跡(岐阜県文化財保護センター提供)



木製鋤出土状況 柿田西遺跡(可児市提供)



古墳時代の水制遺構
柿田遺跡(岐阜県文化財保護センター提供)



JR岐阜駅・名鉄岐阜駅前からいずれも岐阜バスで、長良橋・岐阜公園経由各方面行き[N系統]乗車(約15分)「岐阜公園歴史博物館前」下車。徒歩約5分。

駐車場/岐阜公園堤外駐車場(1回310円)をご利用ください。
※駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

岐阜市歴史博物館



〒500-8003 岐阜市大宮町2丁目18番地1(岐阜公園内) TEL 058(265)0010 URL <https://www.rekihaku.gifu.gifu.jp/>